

Júbilo IWATA
2021

2021シーズン ホームタウン活動報告 (2021年2月1日～2022年1月31日)



はじめに

ジュビロ磐田は、皆様に〈より親しまれ愛されるクラブ〉を目指し、磐田市を中心に静岡県西部地域の課題や地域振興に対して様々な活動に取り組んでいます。多くのステークホルダーの皆様と連携しながら、サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

【ジュビロ磐田のホームタウン活動方針】

①健康・スポーツの普及、振興

- ・誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり

②地域課題への取組

- ・スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり
- ・郷土愛をはぐくみ地元を誇れる取組

③地域振興への取組

- ・活気ある静岡県西部の街づくり

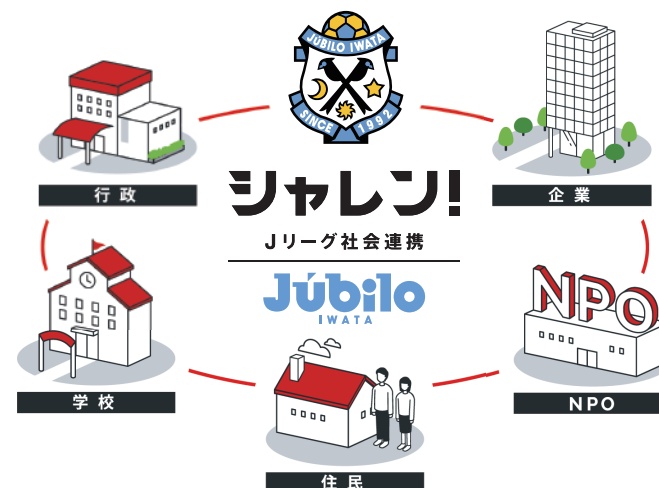


Jリーグをつかおう!

シャレン!

Jリーグ社会連携

Jリーグが掲げる「シャレン」(社会連携活動)に取り組み、「ジュビロを使おう」を合言葉に地域の課題を地域の皆様と一緒に取り組んできました。今後も人々が心身の健康と生活の楽しみを享受できる街づくりを目指します。



シャレン!(社会連携活動)とは?

社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。

3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、これらの社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。また、Jリーグはシャレン!を通じて、SDGsにも貢献しています。

ジュビロ磐田はシャレンを通じて SDGsに貢献しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsとは？

2015年に国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。



ソナエル東海

SINCE 2020

ソナエル東海とは？

“備えるをたのしもう”東海地区の6つのJクラブがチカラを合わせる「ソナエル東海」を発足。

清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクラロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、2020シーズンにJリーグのかけ声のもと推進している4つの社会連携テーマ（防災、高齢者、子ども、一次産業）の1つである防災をテーマにしたプロジェクトをスタートしました。

今後30年以内の発生確率が80%を超えると言われる南海トラフ地震をはじめとしたあらゆる災害に対して「備えるを、たのしもう。」をコンセプトに、地域を中心とした多様な連携先と共に、Jクラブの持つ資源を使って頂くことを通じて、災害から命を守り避難生活に備えるための防災意識を高め、そして、具体的な行動の喚起へと繋がって行くことを目指します。

詳しくはこちら





株式会社ジュビロ
代表取締役社長
小野 勝

日頃よりジュビロ磐田にご支援・ご声援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

2021年も新型コロナウイルス感染は終息が見えず、引き続き制限がある生活を余儀なくされる中においてもジュビロを支えてくださった全ての皆様にまずは感謝申し上げます。

そのおかげで、チームはJ1昇格という目標を達成することができました。

未だ終息が見えない中ではありますが、引き続き地域の皆様との絆を強め、一緒になって地域課題の解決を図るべく、社会連携活動(シャレン)を通じてホームタウン活動に推進してまいります。

多くの皆様と〈夢と感動!〉を分かち合えるよう努めてまいりますので、引き続きのご声援を宜しくお願い申し上げます。



2022
選手会会長
アカデミー出身
**DF 5
小川大貴**

いつも温かいご声援、ありがとうございます。また、選手会の活動にもご理解・ご協力いただき、選手会を代表してお礼申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染症の流行は続き、外に出るの活動は制限される中ではありますが、私たち選手会は、ホームタウン活動などを通して少しでも地域の発展に貢献できるよう、取り組んでいこうと考えています。これからもご協力のほどよろしくお願いいたします。



アカデミー出身
磐田市出身
**DF 25
森岡 陸**

いつもご声援ありがとうございます。アカデミー・ユースの選手たちも地域の皆様のサポートに感謝しながらサッカー生活を送っています。育成年代選手を代表してお礼申し上げます。

日ごろの感謝の気持ちを込めて、プレーはもちろんのこと、ホームタウン活動にも積極的に参加することで、地域の皆様に恩返しができるよう頑張ります。

ホームタウン出身選手 2022シーズン在籍



浜松市出身
**DF 6
伊藤 慎人**



浜松市出身
**MF 10
山田大記**



浜松市出身
**MF 23
山本康裕**



浜松市出身
**DF 26
袴田裕太郎**



磐田市出身
**MF 38
藤原健介**



ホームタウン重点7市1町で行った主なイベント

サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。



成人式inスタジアム



磐田デー



いわた×ジュビロ展



浜松デー



サッカー巡回教室



サッカー巡回教室



サッカー巡回教室



御前崎港開港50周年マッチ



サッカー巡回教室

地域のサッカー普及・育成・文化の醸成、子どもたちの健康促進

主な活動

- 幼稚園・保育園のサッカー教室・運動あそび教室
- 静岡県サッカー協会、自治体、企業などの主催のサッカー教室、運動教室
- 大学と共同のサッカークリニック
- パラスポーツ(サッカー・運動)教室
- 各種大会の主催、協賛、運営

サッカー巡回教室

磐田市、浜松市、袋井市、掛川市、菊川市、森町の幼稚園、保育園の園児たちを対象に、巡回サッカー教室を行っています。

2021シーズン
サッカー巡回教室 参加人数

磐田市:20園	655人
浜松市:35園	1,004人
袋井市:18園	464人
掛川市:18園	580人
菊川市:8園	243人
森町:3園	39人
合計:103園	2,985人

※磐田市は幼児合同スポーツ教室として実施



運動あそび教室

浜松市内の幼稚園、保育園を対象に、運動あそび教室を行っています。各園の思いを反映し、様々な運動を経験することによって園児たちに身体を動かすことの大切さを感じてもらい、運動を継続し健康的な生活を送ってほしいと考えています。

2021シーズン

運動あそび教室 参加人数

浜松市:35園.....852人

パラスポーツ(サッカー・運動)教室

ジュビロ磐田では、スポーツを通してインクルーシブな社会の実現を目指しています。

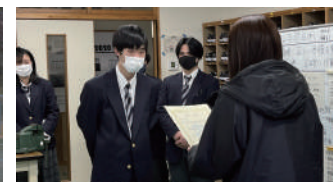
障がいの有無に関わらず、誰もが分け隔てなくスポーツを楽しめるようにパラスポーツ(サッカー・運動)教室を行っています。



ジュビロ特別支援学校 チャレンジドリーグ

この大会は、NPO法人静岡FIDサッカー連盟が主催する、サッカー部のある県西部の7校(浜松特別支援学校、浜松特別支援学校城北分校、浜北特別支援学校、浜名特別支援学校、袋井特別支援学校、袋井特別支援学校磐田見付分校、掛川特別支援学校御前崎分校)が出場する大会で、ジュビロ磐田は大会運営のサポートをしています。

7月にゆめりあ球技場多目的グラウンドで開幕し、2022年2月と3月に上位2校の各学校で表彰式を行いました。



スポーツを身近に、より健康で豊かに

スポーツを通じて、地域の皆様とより密接に交流し、健康で豊かな地域づくりを目指しています。

自主事業

2016年よりNPO法人磐田スポーツ協会と共同で、市内の芝生グラウンド(5面)の指定管理を受託。自主事業として、天然芝グラウンド等でスポーツ・健康をテーマとした各種教室を開催しています。コロナの影響で規模を縮小しながらも市民の健康で豊かな生活に寄与できるよう開催をしてきました。

主な活動

- ジュニアチアダンス教室
- 大人女子サッカー教室



磐田部活

文部科学省が学校部活から地域部活への移行を発表したことを受け、磐田市と協働でテストケースとしたサッカー教室を企画しています。

おとな女子サッカー

「ケガせず楽しく」をモットーに、大人の女性を対象としたサッカー教室を開催しています。約8割の方が初心者で、磐田市や浜松市のほか、静岡市や藤枝市からもご参加いただいています。



様々な地域スポーツの推進

ジュビロ公式チアリーダーズ「Jubies」

「Jubies(ジュビーズ)」は、ジュビロを応援したい! ダンスが大好き! ホームタウンを笑顔でいっぱいになりたい!という女の子たちが、その場にいる人を元気づけ、全員を笑顔にすることを目指してレッスンに励んでいます。コロナ禍で、なかなかパフォーマンスを披露する機会がありませんでしたが、人々に「夢と感動」を与えるスポーツの楽しさ、チームワークの大切さを学んでいます。



ジュビロヨガクラブ

福田屋内スポーツセンターで、18歳以上の男女を対象に「続けることでカラダが変わる」をスローガンとして、ヨガ教室を開催しています。



夢と感動の共有

スタジアムでの観戦を通して、子どもたちの健全育成に寄与しています。
また、子どもたちと交流することで、夢と感動を共有する機会を提供しています。

「ふじのくに スポーツふれあいパスポート」 親子招待企画

静岡県内Jリーグ4クラブ合同の企画として、県内の小学校に通う児童とその保護者の皆様を対象に、各クラブの7月のホームゲームへの招待企画を実施しました。Jリーグのチーム・選手を身近に感じ、プロスポーツへの夢や憧れを抱いてもらうことで、子どもたちの健全育成に貢献することを目的としています。この企画は、静岡県民共済生活協同組合様のご協力と、静岡県教育委員会の後援により実現しました。県内Jリーグ4クラブ合同での招待企画は、Jリーグ初の取り組みとなりました。



スポンサー企業による地域貢献へのお手伝い

スポンサー企業とともに、
地域の子どもたちのサッカーとの初めての接点や、
面白さを体験してもらう機会を提供しています。

Jリーガーも経験 サーラカップ

静岡・愛知・岐阜・神奈川県での予選を勝ち上がった16チームによるトーナメント戦をヤマハスタジアムにて開催。過去のサーラカップ出場者の中には現在プロ選手として活躍しているプレーヤーもいます。



体づくりもサッカーには大切 サーラキッズ

「栄養セミナー」や「フィジカルコンディショニング講座」、「サッカー教室」の3つのプログラムを実施するなど総合的な育成プログラムとしてサッカーの普及に努めています。



明治安田生命浜松支社 子どもサッカー教室

明治安田生命による「地域社会への貢献」の一環として、全国にある支社を中心にホームタウン地域のお子様を対象としたサッカー教室を開催しています。



ジュビロが育てる未来のジュビロ

ジュビロの育成・普及組織やホームタウンで育った選手が、やがてプロ選手としてJリーグや世界の舞台で活躍すること、サッカー・スポーツを継続し健康に成長すること。

そしてまた、子どもたちが指導者や子を持つ親となったとき、サッカー・スポーツやジュビロを愛する気持ちを、その次の世代につなげてくれること。それが私たちの願いです。

サッカーの普及

『地域に根ざしたスポーツクラブ』というクラブ理念のもと、サッカーの普及を通してジュビロファミリーの輪を広げるとともに、地域のスポーツ文化の醸成に貢献しています。

選手・指導者育成への協力

ジュビロ磐田では、ホームタウンエリア全体のサッカーの普及・育成を目指し、地域の指導者の皆さんと協力して、トレセン活動等を行っています。

指導者講習会やサッカークリニックを開催し、ジュビロ磐田の持つノウハウを地域に還元し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めています。



ジュビロでは、各トレセンの指導に関わっています。

サッカースクール

ジュビロサッカースクールは、約40年の歴史を持ち、地域のサッカーの育成・普及に長年努めてきました。子どもたちにとって、サッカーとの出会いの場所でもあるサッカースクールでは、多くの子どもたちに技術だけでなく、「サッカーを楽しむ気持ち」を育むことを第一の目標に指導をしています。



【スクール生】

- キッズ～小学6年生／1,300人
- 中学1年～3年生／200人

ジュビロサッカースクール出身選手(2022シーズン在籍)



6.伊藤慎人
ジュビロ浜松Jr.ユース



10.山田大記
ジュビロ浜松SS
ジュビロ浜北Jr.ユース



23.山本康裕
ジュビロ浜北Jr.ユース



25.森岡 陸
ジュビロサッカースクール
ジュビロSS磐田



38.藤原健介
ジュビロ磐田U-15

※この他にも10名以上のジュビロサッカースクール出身選手がJリーガーとして活躍しています



地元への誇りと愛着の醸成

磐田市成人お祝い in ヤマハスタジアム

新型コロナウイルスの影響により、磐田市の成人式が中止になったことを受けて、磐田市の新成人の皆様にヤマハスタジアムを開放しました。スタジアムの大型ビジョンには、大井選手、森岡選手からのお祝いメッセージを放映し、新成人の晴れの日を祝福しました。



磐田市主催『磐田市小学生一斉観戦事業』

磐田市が目指す「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活にとけ込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができる町」の取り組みの一つとして市内全22校の小学5・6年生をヤマハスタジアムへ招待しています。2021年は、新型コロナウイルス感染症対策のため小学6年生（約1,600名）のみでの実施となりましたが、今年で10回目を迎えました。

【目的】①スポーツに関心を持つきっかけ作りをする

②チームへの愛着はもとより、磐田市をふるさととして誇りに想うこと

③将来にわたって郷土を愛する気持ちを育むこと



環境問題への取り組み

植林活動

リサイクルクリーンecoステーション

エコパートナーであるリサイクルクリーン様ご協力のもと、ヤマハスタジアムでの試合時に空き缶・ペットボトルを回収しました。

2021シーズンは、缶:85kg、ペットボトル:596kgを回収し、5本の苗木を購入することができました。苗木は、リサイクルクリーン様、エフ・シー・シー様、アイジーコンサルティング様のご協力により、7月に浜松市天竜区の山に植樹されました。



ジュビロと自治体による「まちづくり」

ジュビロの伝える力を活用して、交通安全や人権を守る運動などの啓発活動を推進しています。

交通安全

ジュビロ磐田は交通安全に関する取り組みを積極的に行っています。

【のぼり旗】

磐田市と協力してジュビロのマスコットをモチーフにしたのぼり旗を製作し、自治会や商店会のご協力を得て交通事故防止のため街の交差点や商店街、街の至る所にのぼり旗を掲出しています。

交通安全グッズの贈呈

交通安全の一助になるように交通安全グッズを贈呈しています。



入学式交通安全バッグ贈呈

2012年より磐田市と協力して磐田市内の小学校に入学する新1年生に交通安全バッグを贈呈しています。



臓器提供意思表示カード

静岡県腎臓バンクの臓器提供意思表示カードの製作に協力し、感謝状をいただきました。



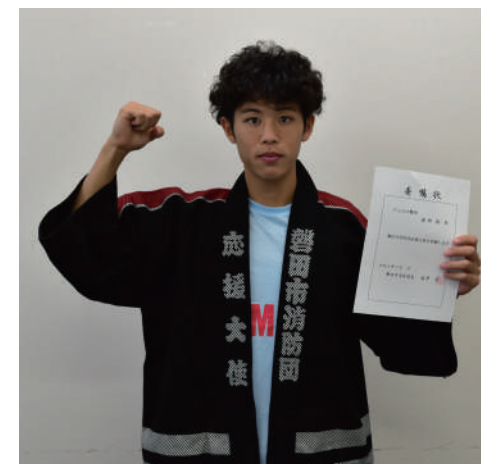
防火・防災フォトコンテスト

磐田市消防本部主催のフォトコンテストが開催され、森岡陸選手、吉長真優選手がSNS投稿用の参考画像撮影を行い、フォトコンテストをサポートしました。



磐田市消防団応援大使就任

森岡陸選手が磐田市消防団応援大使に就任し、消防団の活動・イベント等への参加や広報活動等に参加しています。



ソナエル東海

“備えるを、たのしもう。”をコンセプトに、東海地区の6つのJクラブが防災のためにチカラを合わせる「ソナエル東海」が2020年に発足。清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクアロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、Jリーグが推進する社会連携活動「シャレン!」の一環として、『防災』をテーマとしたプロジェクトをスタートさせました。



詳しくはこちら



ジュビロは

●ハザードマップの周知

- ハザードマップを幅広い年齢層に知っていただく活動をしています。
- 特に若年層に知っていただくためにスマートフォン等のデジタルの活用を進めています。
- スタジアム見学や運動教室等に参加した子どもたちにオリジナルシールをプレゼントしています。その裏面には磐田市・浜松市のハザードマップが確認できるQRコードを印刷。家に帰ってから家族みんなで防災準備ができるようにしています。



●防災ゲーム

- 小中学生を対象とした「楽しく学べる防災ゲーム」を製作し、子どもたちと共に学べる機会を作っていきます。

Jリーグシャレン! ヤフー防災模試 共同企画

Jリーグ・シャレン!とヤフー・ジャパン株式会社が連携し、「ヤフー防災模試」を実施。9月1日の防災の日を核とし、自然災害による被害を少しでも減らすこと、救える命を増やすことを目的に開催されました。

《ソナエル東海杯》

6月に、風水害が想定される東海地方の方々が、楽しみながら防災に関する知識を高められるよう、チーム対抗戦で盛り上げました。ジュビロ磐田からは応援隊長として、草地博昭磐田市長が登場。

最も受験者の多いクラブが優勝となりますが、6クラブ中2位という成績でした。

《ソナエルJapan杯》

9月にはJ57クラブが参加する「ソナエルJAPAN杯」が開催されました。約2週間のブロック別予選ラウンドの後、決勝ラウンドが行われましたが、ジュビロ磐田は予選敗退という結果でした。



ソナエル東海【防災】AR(拡張現実)を活用した浸水時のリアル体験(ジュビロ)

磐田市とNHK様のご協力により、浸水時のリアルな状況がわかる専用アプリを、ホームゲームに会場された方に体験いただきました。

ハザードマップ周知のためのポスター作成

磐田市が抱えていた「ハザードマップの周知が足りない」という地域課題に対し、磐田市のハザードマップにアクセスできるQRコードを掲載したポスターを磐田市とNHK様と連携し、作成しました。



土石流被害の熱海へ義援金と支援物資の贈呈

7月に大規模な土石流被害を受けた熱海市を支援するため、ホームゲームで義援金募金活動を行いました。集まった義援金は、ソナエル東海を通じ総額約93万円をほか支援物資とともにお送りしました。



その他の活動

～大型ビジョンなどでの告知協力～

- 国土交通省「バスの車内事故防止月間」
- 国土交通省「不正改造車を排除する運動」
- 磐田警察署テロ防止
- 磐田警察署・交通安全協会磐田地区支部・磐田地区安全運転管理協会 交通安全PR
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)
- 磐田市消防本部啓発活動PR

- 静岡県自動車点検整備推進運動
- 磐田警察署詐欺被害防止
- 静岡県教育委員会子供・若者育成支援協調月間
- 世界自閉症啓発デー
- 国税庁「税を考える週間」
- 赤い羽根共同募金

地域に寄り添うクラブでありたい

寄付金

2021シーズン、J2優勝・J1昇格達成に向けジュビロ磐田を熱く応援してくださったファン・サポーターの皆様へ感謝を込めて、ジュビロ磐田選手会とジュビロ磐田が共同オークションを実施しました。

このオークションの収益は半分をクラブの運営費に、残りの半分は磐田市教育委員会に寄付しました。経費を除き、寄付金額は【767,539円】となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



ジュビロをつかおう!

静岡県西部地域の皆様の力に少しでもなればと、「ジュビロをつかおう!」サイトを立ち上げました。

活動区域としている7市1町(磐田市、浜松市、湖西市、袋井市、掛川市、森町、菊川市、御前崎市)のデリバリーやテイクアウトができる飲食店を紹介しています。



冷やしジュビロラーメン

磐田市のヤング草莽塾事業から始まった、磐田南高等学校の「平均通学時間44分48秒」の皆さんによる『ジュビロカラーのラーメンを作ろう』企画が、麺工房丸屋様のご協力により実現しました。

試食会を重ね、クラブカラーやエンブレムを表現したラーメンを作り、ホームゲーム時に販売しました。



磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」

「ジュビロ飯」とは、地元の食材を使用した、栄養バランスが取れた食事と適度な運動(体操)を合わせて楽しみ、健康で幸せな生活することを指します。

2020年秋の産業振興フェアをきっかけに健幸プロジェクトを発足。「ジュビロ飯」は、2021年に食とスポーツによる市民の健康向上と地域の経済活性化を図ることを狙いとし、磐田市、市内2大学(静岡産業大学、農林環境専門職大学)、ジュビロ磐田、磐田商工会議所、市内企業の産学官連携により実現しました。

2大学の学食、磐田グランドホテル、ヤマハスタジアムでの提供のほか、市内の飲食店にも広げ、今後は市内小学校の給食メニューにも展開できるよう進めています。



ジュビロフードドライブ

12月に、ホームゲーム時に実施した「ジュビロフードドライブ」にて集められた食品を、静岡市葵区の「フードバンクふじのくに」へお届けしました。

11月7日の実施では皆様のご協力により、52kgの食品を集めることができました。



ジュビロ選手会による活動

One Shizuoka Project活動内容

“スポーツの力で静岡をひとつに”を合言葉に県内4つのクラブ(磐田・藤枝・清水・沼津)の選手会が、いつも支えていただいているサポーター、スポンサー、地域の皆様を少しでも支えるため、合同でプロジェクトを立ち上げました。

- ◇クラウドファンディングの実施
- ◇公式SNSアカウントで情報発信
- ◇オリジナルグッズの販売
- ◇小学生向けオンライン講演



詳しくはこちら



YouTube

YouTubeチャンネルを開設し、キッズQ&A、育成年代向け講演会等動画コンテンツの配信をしています。

グッズ販売

3月に完全受注生産でのグッズ販売を開始。収益は寄付、または活動費に充てられます。販売されるエコバッグのデザインは、サポーターの投票をもとに決定しました。



子ども食堂へ寄付

10月には、磐田市にある子ども食堂「もぐもぐカフェ」様にジュビロ磐田の選手サイン入りエコバックやジュビログッズの寄付を行いました。



SPORTS FESTIVAL～プロの選手と楽しもう～

12月18日・19日に、「SPORTS FESTIVAL～プロの選手と楽しもう～」と題したイベントを、静岡大学のグラウンドにて開催。

1日目には、ブローライフやボッチャなどニュースポーツの体験会を、2日目にはサッカー教室を行いました。



サッカー教室

12月28日には竜洋スポーツ公園サッカー場にて、株式会社ウップスランニング様のご協力によりサッカー教室を開催しました。

県内J4クラブに加え、なでしこリーグ所属の静岡SSUアスレジーナからの各チーム計10名程度の選手が参加し、サッカー教室、ゲーム形式、座学により参加者を盛り上げました。



あなたの町で出会うジュビロ

ジュビロに一層親しんでいただけるよう、地域の皆様のイベントに参加したり、スタジアムの外で楽しんだりできるようなイベントを開催しています。

いわた×ジュビロ展

「いわた×ジュビロ展」を磐田中央図書館で7月に開催しました。

スポーツ教室や選手が子どもに読み聞かせたい本、チームなどに関するクイズなども展示しました。



「ジュビロ磐田コラボ SDGsとフットゴルフ」ツアー

観光庁の公募による「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」に採択された「ジュビロ磐田コラボ SDGsとフットゴルフ」ツアーを12月に実施しました。

午前、マリンパーク御前崎にて行ったビーチクリーン活動を行いました。回収した可燃ゴミは、有限会社カツミ様のご協力により、牧之原市にある障がい者就労継続支援事業所にて砂を除去いただいた後、熱分解をして処理されました。午後は静岡カントリー浜岡コース&ホテルにてフットゴルフを行いました。



オンラインミーティング

選手とファン、サポーター、スポンサー、スクール生等が触れ合う機会として、オンラインミーティングを開催しました。

◇サポーターズクラブ会員 ◇スクール生

◇スポンサー

◇湖西地区サッカースポーツ少年団(浜名湖JC)



聖隷浜松病院クリスマス会

小川大貴選手、山田大紀選手が聖隷浜松病院小児病棟にクリスマスプレゼントを届けました。新型コロナウイルスの影響により、今年はビデオ会議システムを用いたオンラインでの交流となりました。



学校教育関連

スタッフ学校訪問講演事業

静岡県西部地域の小・中学校を中心にクラブスタッフが訪問し、子どもたちに、サッカーに携わる仕事や自分の夢、そして私たちジュビロ磐田のスタッフが持っている専門的な知識などについて語り、子どもたちが将来の夢や希望を抱く心を育む活動を行っています。

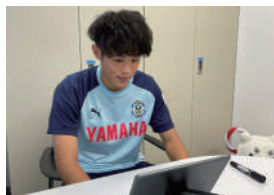


学校訪問 一覧

- 磐田市立青城小学校 総合学習
- 磐田市立豊田南中学校 進路講座
- 磐田市立富士見小学校 夢先生

選手学校訪問

磐田市の小学校を中心に、選手が学校訪問をしました。新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの訪問となる学校もありましたが、子どもたちとの交流を各選手楽しんで行っています。



オリジナルクリアファイル贈呈

電器堂株式会社様、合資会社窓プランニング名古屋様、株式会社スマートアグリカルチャー磐田様のご協力により、磐田市内小学生約9,000名に



ジュビロ磐田オリジナルクリアファイルを贈呈。今回は、イラストレーター・ホペイロ中島さんがデザインしたジュビロくん・ジュビィちゃんを使用しました。

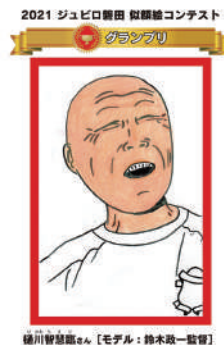
静岡産業大学冠講座

静岡産業大学でジュビロのスタッフが講師として実施する冠講座。2004年より継続実施しています。



似顔絵表彰

ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会主催による「ジュビロ磐田似顔絵コンテスト」は毎年1000点以上の応募をいただいています。グランプリ、準グランプリの方は、ホームゲーム時にスタジアムで表彰をしています。



ジュビロキッズ配布

ジュビロ磐田とヤマハ発動機ジュビロが、磐田市、浜松市、袋井市、森町の協力のもと、地域の小学生全員に学校を通じてミニ新聞を配布しています。表紙の「君の心にエール」では、選手から夢に向かって頑張っている子どもたちに向けたメッセージを届けています。



図書カード贈呈&推薦文庫

2021年も、選手より中学生向けの推薦図書を選定し、「選手が選ぶ」中学生のうちに読んでおきたいおすすめ本」と題して、各中学校に図書カードと合わせてお送りしました。



卒業の お祝いメッセージお届け

磐田市内の小学校を卒業する6年生へのお祝いの気持ちと、一斉観戦事業をはじめとした日ごろの応援への感謝をこめて、全小学校へお祝いのメッセージを届けました。



課外授業受入

小中学校の課外授業でスタジアム見学、職業体験等の受け入れを行っています。



サッカーを通じた交流

行政、住民、観光、協会など、様々な方々と協働の場を作っています。

御前崎港開港50周年記念マッチ

2021年に御前崎港が開港50周年を迎えたことを記念し、8月に「御前崎港開港50周年記念マッチ」を開催。

御前崎市および御前崎市観光協会様のご協力のもと、特産品の販売や抽選会を行いました。

試合前には柳澤重夫御前崎市長によるキックインが行われました。



磐田デー

磐田市内の全小学校6年生の一斉観戦事業と連動し、磐田デーを今年も実施しました。

磐田市教育長によるキックインや一斉観戦事業ヒストリーパネル展示、「いわた茶」の配布などを行いました。



浜松デー

フーデリックスPRブースを設置。

浜松市およびうなぎいも共同組合様のご協力のもと、特産品の抽選会を行いました。



※順不同 2022年3月31日現在

オフィシャルスポンサー



ヤマハ発動機(株)／サーラグループ／(株)静岡新聞社・静岡放送(株)／浜松ホトニクス(株)

オフィシャルサプライヤー



Admiral

ユニフォームスポンサー

ヤマハ発動機(株)／サーラグループ／浜松ホトニクス(株)／サクラ工業(株)

ゴールドメンバー

遠州鉄道(株)
(株)静岡第一テレビ

(株)コーシンサービス
浜松ホトニクス(株)

(株)静岡新聞社
三井住友海上火災保険(株)

静岡放送(株)
ヤマハ(株)

(株)静岡銀行
ヤマハ発動機(株)

シルバーメンバー

石川建設(株)
(株)クレストック
浜名梱包輸送(株)

(有)伊藤鋳金工業所
JAバンク静岡
ヤマハロボティクスホールディングス(株)

(株)SBSプロモーション
シダックスコントラクトフードサービス(株)

(株)大塚
大和証券(株)

医療法人社団 海仁
野村證券(株)



株式会社ジュビロ

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500

<http://www.jubilo-iwata.co.jp>